

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	3	2	子育て支援	配慮を必要とする子どもや家庭への支援
実施計画事業名					
療育支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	08	療育支援事業	
担当課・係等					
子育て支援課 子ども家庭相談室					

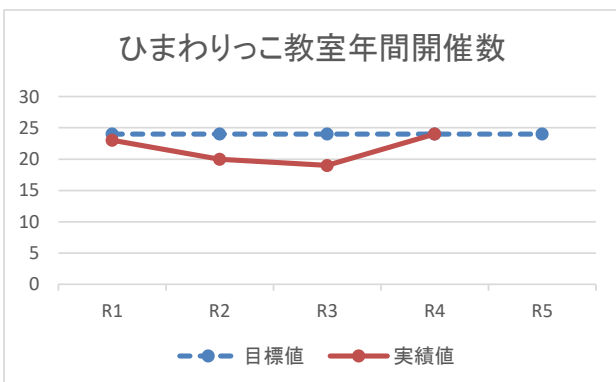
実施計画整理番号	
202030202	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>発達の遅れのある、または心配される幼児の健やかな成長及び保護者の育児不安の解消により、適切な子育て環境が整えられるよう支援を図る。</p>	<p>月2回、ひまわりっこ教室を実施し、親子のふれあいや遊びを通じ、保護者の思いを聞きながら、相談や情報提供を行う。また、予約制による「ことばの相談」や「子育て相談」を実施し、個別相談支援を行う。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>発達の気になる子どもに対して、その特性を早期に発見し、適切な支援につなげ、育てにくさを感じている保護者のストレスを緩和することにより、児童虐待の防止につながり、施策「配慮を必要とする子どもや家庭への支援」に寄与する。</p>	

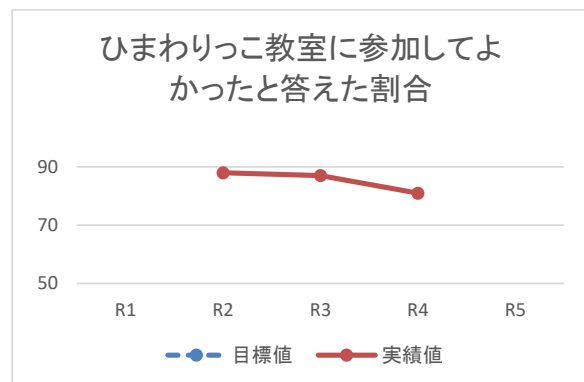
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,128	2,128	1,761	2,128	2,123	1,970			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,128	2,128	1,761	2,128	2,123	1,970			
	人工数	人	0.7			0.7					
	人件費	千円	1,987			1,987					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
保健センターの幼児健診や赤ちゃん訪問事業等を通じて、発達の遅れや軽度の発達障害が心配されるお子さんを把握し、積極的に本事業を紹介する。	ひまわりっこ教室年間開催数	回	24	24	24	24
		実績値	20	19	24	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
対象児童が、継続して事業に参加することにより、良好な育成及び保護者の育児不安の解消につなげる。	ひまわりっこ教室参加者アンケートで「参加してよかった」と回答した割合(10段階中7以上)	人	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
		実績値	88	87	81	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	3	2	療育支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	08	療育支援事業

整理番号
202030202

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・ひまわりっ教室では、幼児健診等で発達の遅れや軽度の発達障害が心配される児童を対象に、発達を促す遊びや接し方や話し方、また保護者が楽しく子どもと遊ぶことで育児不安や育児ストレスの緩和につながるように事業を実施した。</p> <p>・子育て相談では、子育てやしつけ、発達などに心配を抱える保護者の不安の解消を目的として、臨床心理士による相談を実施した。</p> <p>・ことばの相談では、ことばが遅い、うまく発音できない、吃音などに関する心配を抱える保護者への支援の一環として言語相談員による相談を実施した。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・発達に障害があることを受け入れられない保護者に対しては、事業へ参加することの有効性を理解してもらうことが重要である。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・ひまわりっ教室では、幼児健診等で発達の遅れや軽度の発達障害が心配される児童を対象に、ひまわりっ教室を月2回開催し、親子のふれあいや遊びを通じて、保護者の思いを傾聴しながら相談や情報提供を実施する。</p> <p>・予約制にて子育て相談やことばの相談を実施し、個別での相談支援を行い、子育てやしつけ、発達などに心配を抱える保護者の不安の解消に努める。</p>	
企画政策課の評価		評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p>	<p>保護者の育児不安の解消に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、利用者のニーズ・思いに沿った相談支援を実施するとともに、事業実施についてSNS等を活用したより効果的な情報発信に努め参加を促進することで、保護者の育児不安解消につなげていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	1	1	1	地域福祉	地域福祉の充実
実施計画事業名					
社会福祉協議会補助事業					

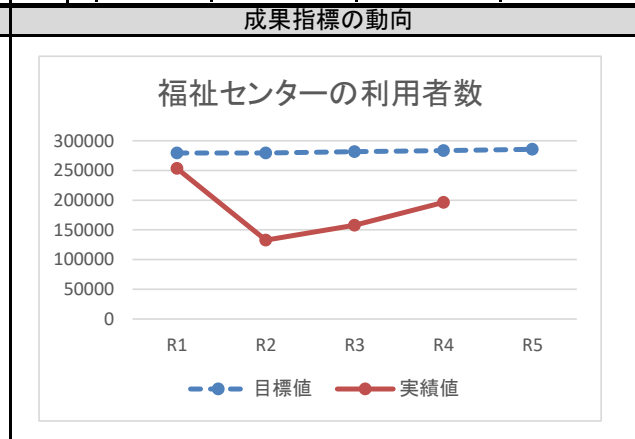
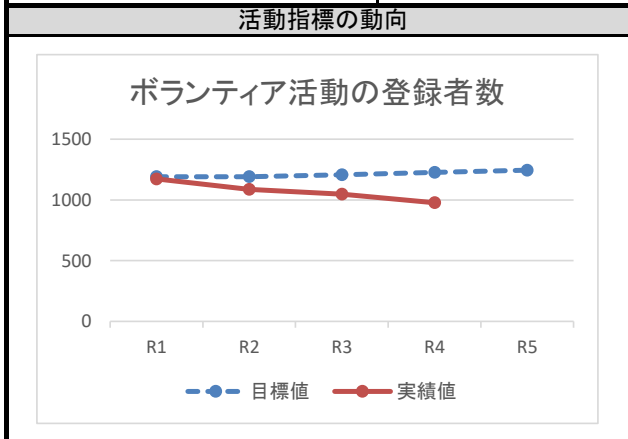
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	01	03	社会福祉協議会補助事業	
担当課・係等					
社会福祉課地域福祉係					

実施計画整理番号	201010101
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	茂原市社会福祉協議会の経営基盤の強化を図り地域福祉を推進するとともに、福祉団体を支援して民間福祉活動を推進する。	茂原市社会福祉協議会に補助金を交付する。また、茂原市社会福祉協議会を通じて民間福祉団体に助成金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
社会福祉法において地域福祉の中核的団体に位置付けられている社会福祉協議会に補助金を交付し、運営、福祉サービス事業、地域福祉活動推進事業を支援することで、地域福祉の推進を図り、ひいては施策「地域福祉の充実」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	91,969	91,969	89,935	91,924	91,976	89,563			
	国補助	千円									
	県補助	千円	943	943	852	943	953	918			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	91,026	91,026	89,083	90,981	91,023	88,645			
	人工数	人		0.35			0.35				
	人件費	千円		2,648			2,648				

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
地域共生社会を推進するため、市民のボランティア事業に対する理解と関心を深め、ボランティア活動を推進する。	ボランティア活動の登録者数	人	1,191	1,208	1,227	1,245
		実績値	1,086	1,048	977	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
福祉センターを地域福祉の拠点として各種福祉活動を実践する。	福祉センターの利用者数	人	279,450	281,520	283,590	285,660
		実績値	132,764	158,025	196,485	



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	1	1	1	社会福祉協議会補助事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	01	03	社会福祉協議会補助事業

整理番号
201010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・茂原市社会福祉協議会に対して補助金を交付して、社会福祉協議会の運営、福祉サービス事業(企画普及事業、相談事業、ボランティアセンター運営事業、在宅福祉サービス事業、後見支援センター事業)、地域福祉活動推進事業(福祉団体助成事業、老人福祉事業、地区社協事業)を支援することで、地域福祉の推進を図った。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・茂原市社会福祉協議会を支援することで、地域福祉の基盤強化、地域福祉の推進、各福祉団体の育成が図られるものであり、一定の成果があったものと認められる。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により対面型の福祉活動の制限が生じた。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・市と社会福祉協議会は相互に連携を取り地域福祉を推進するものであるため、効果的・効率的に福祉事業が実施できるよう、互いに事業内容を精査し、実施方法を工夫するなどして事業に取り組んでいく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p>B</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>本事業は、地域福祉の推進に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き新型コロナウイルスの影響により活動制限を余儀なくされる中だが、より効果的・効率的な事業展開を進めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
2	2	1	1	子育て支援
総合的な子育て支援の充実				
実施計画事業名				
母子保健事業				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	04	母子保健事業
担当課・係等				
健康管理課保健センター				

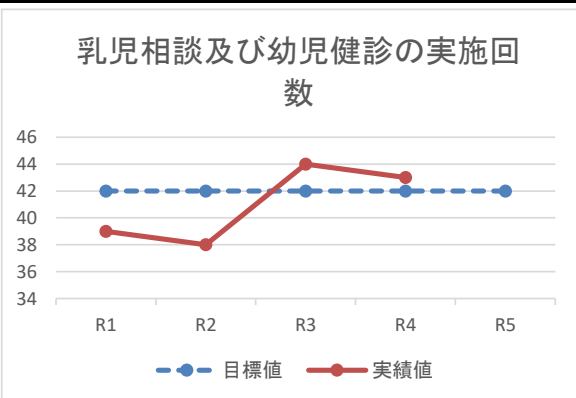
実施計画整理番号	
202010101	
総合戦略整理番号	21101

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	妊産婦、新生児、乳幼児とその保護者に対し、安心して妊娠・出産ができる環境づくりを行い、子どもの健やかな成長・発達への支援と育児不安の軽減に努め、子どもの健全な心と身体の育成を目指す。	妊娠中からの相談体制を確立し、育児不安の軽減に努めるとともに、父親の育児への積極的な参加を促す。また、児童虐待防止と児童の健やかな成長のため、各種健診、家庭訪問、教育・相談事業を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	未来を担う子どもたちの健全な心と体の育成に向けて、各種健診、家庭訪問、教育・相談事業を実施することは、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。	

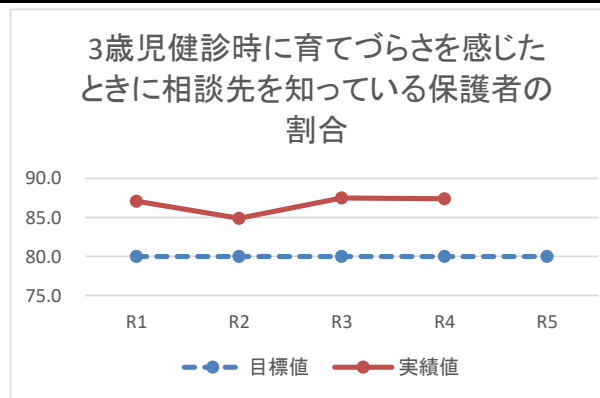
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	76,343	84,901	75,778	76,170	77,099	66,939			
	国補助	千円	2,545	8,353	6,879	2,875	2,585	1,793			
	県補助	千円	1,659	4,176	3,399	1,825	1,675	1,158			
	市債	千円									
	その他	千円	813	813	516	800	619	566			
	一般財源	千円	71,326	71,559	64,984	70,670	72,220	63,422			
	人工数	人	8.4			7.4					
	人件費	千円	46,995			31,867					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
妊娠届出時から担当保健師を案内し、相談しやすい体制を整え、妊婦・乳児一般健康診査及び赤ちゃん訪問、乳児相談、各種幼児健診等を実施し、必要に応じて電話や訪問等でも相談対応を行い、子どもの健やかな成長を支援する。	乳児相談及び幼児健診実施回数	回	42	42	42	42
		実績値	38	44	43	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
乳児相談及び各種幼児健診等にて、保護者の気持ちに寄り添いながら相談や保健指導を行い、子どもの成長や発達に合わせた関わりができ、健全な心と体の育成を促す。	すこやか親子21のアンケート調査(3歳児健診時)で「育てにくさを感じたときに相談先を知っている」と回答した保護者の割合が80%以上	%	80.0	80.0	80.0	80.0
		実績値	84.9	87.5	87.4	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	1	1	母子保健事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	04	母子保健事業

整理番号
202010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出面接: 409件 ・妊婦健康診査: 4,864件 ・乳児健康診査: 751件 ・ママ・パパ教室: 220件+個別対応9件 ・乳児家庭全戸訪問数: 408件 ・1歳6か月健診受診者数: 507件(98.1%) ・3歳児健診受診者数: 517件(95.4%) 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時の面接は、助産師あるいは保健師が全数面接し、必要に応じて電話や訪問でサポートし、妊娠期から子育て期にかけて安心して過ごせるように支援することができた。 ・ママ・パパ教室は、感染症対策として定員を減らして開催し、希望者をすべて受け入れることができず、個別対応や別日程を設定し、きめ細やかに対応をした。 ・各種幼児健診については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を減らし、風邪症状などがある場合には受診を控えるようにしたことから、受診率が低下している。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症について感染症法上の位置づけが5類に緩和されることに伴い、次年度は定員を増やして対応する。感染症対策として作成した動画を活用しながら、今後も柔軟に対応する。 	
企画政策課の評価		評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	本事業は、育児不安の軽減を図ることで安心して妊娠・出産ができる環境を整備し、総合的な子育て支援の充実に寄与していると認められる。引き続き、市の重点施策である子育て支援の充実のため、より効果的・効率的な事業実施に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
特定不妊治療費等助成事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	03	04	母子保健事業	
担当課・係等					
健康管理課予防保健係					

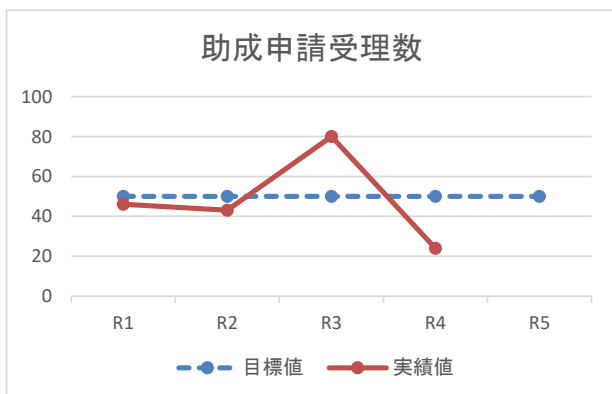
実施計画整理番号	
202010102	
総合戦略整理番号	21102

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>子どもを産み育てたいという希望を持ちながら子どもができない夫婦に対し、特定不妊治療等に要する費用の一部を助成することにより、当該夫婦の経済的負担を軽減する。</p>	<p>千葉県特定不妊治療費助成事業対象者に対し、市独自で上乗せ助成、及び男性不妊治療費に対する助成を行う。また、男性不妊検査費に対する助成を行う。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
<p>不妊治療を行う夫婦の経済的な負担を軽減することで、出生数の増加につなげ、ひいては施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。</p>		

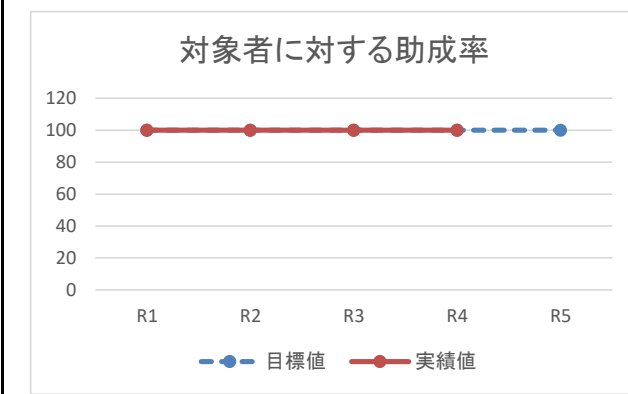
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,120	5,116	5,116	3,120	3,120	1,677			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,120	5,116	5,116	3,120	3,120	1,677			
	人工数	人	1.1			0.9					
	人件費	千円	3,405			2,837					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
不妊治療を行った夫婦が必ず申請ができるよう、県への周知依頼及び広報、市公式ウェブサイトでの周知を実施する。	助成申請受理数	件	50	50	50	50
		実績値	43	80	25	
	広報・ウェブサイト等による周知件数	回	3	3	3	3
		実績値	3	3	3	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
対象者に対する助成率を高い水準にすることにより、費用負担の軽減を図る。	対象者に対する助成率	%	100	100	100	100
		実績値	100	100	100	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	1	1	特定不妊治療費等助成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	04	母子保健事業

整理番号
202010102

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>①特定不妊治療費助成:23件 ②男性不妊治療費助成(精巣内精子改修術等)助成決定件数:0件 ③男性不妊検査費助成:2件 ④広報もばら、市公式ウェブサイトにて制度の周知を行った。また、県の助成窓口である長生保健所(長生健康福祉センター)にチラシを設置した。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>不妊に悩む夫婦が経済的な理由で子どもを持つことを諦めることの無いよう、引き続き制度の周知を行う必要がある。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<p>引き続き、助成対象となる夫婦に対して正確な情報を提供することに努める。 なお、本事業は千葉県特定不妊治療費助成事業の助成承認を受けた者が助成対象となるが、特定不妊治療の保険適用に伴い、県の助成事業が終了となることから、本市での助成事業についても令和5年度で終了となる。</p>			
	企画政策課の評価		評価理由	
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	本事業は、当該夫婦の経済的負担の軽減を図ることで、総合的な子育て支援の充実に寄与していると認められる。引き続き、制度の周知徹底に努めるため、SNS等の様々な媒体を活用していただきたい。		

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
2	2	1	1	子育て支援
				総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名				
産前産後サポート事業				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	04	母子保健事業
担当課・係等				
健康管理課保健センター				

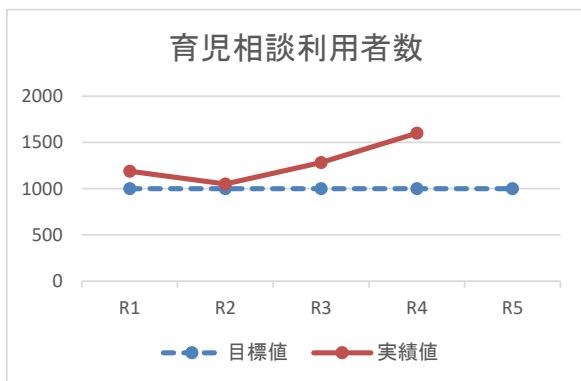
実施計画整理番号	
202010103	
総合戦略整理番号	21103 22201

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	妊娠を望む夫婦から子育て家庭を対象に、妊娠・出産・子育てに関する不安や悩み等について助産師等の専門職が切れ目なく相談支援を行い、家庭や地域での妊産婦等の孤立化を予防する。	保健センター内に設置した、産前産後サポートセンターを中心として、妊娠届出時に助産師等が全数面接し、産前産後のケアプランを作成する。また産後に家族等の支援が得られない産婦に対し、産後ケア事業を行い、不安のある妊産婦についてはママのわ等の事業を通じて妊産婦同士が交流したり、気軽に専門職に相談できる機会を提供し、安心して子育てができるよう支援していく。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	妊娠期から子育て期にかけて、切れ目なく相談支援ができる体制を整えることで、安心して子育てができるよう支援することは、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。	

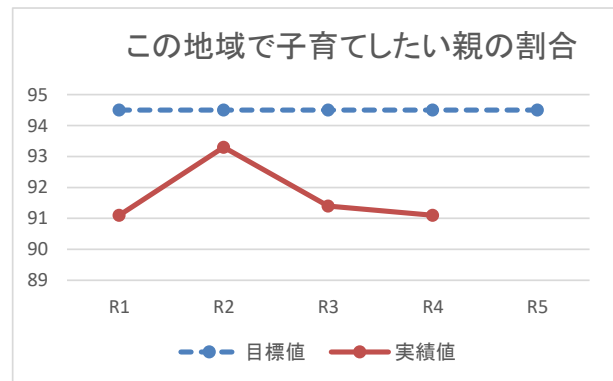
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	4,354	7,228	4,441	4,146	81,915	12,218			
	国補助	千円	2,121	2,121	2,155	2,073	9,215	8,636			
	県補助	千円					1,296	1,294			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,233	5,107	2,286	2,073	71,404	2,288			
	人工数	人	4.3			4.2					
	人件費	千円	22,128			19,103					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
妊娠届出時に助産師等が面接し、産前産後ケアプランを作成し、産後ケア事業や産前産後サポート事業等を実施し、就学前までの子育て期までを切れ目なく、安心して子育てができるよう支援していく。	育児相談利用者数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	1,051	1,284	1,133	
成果	成果指標	単位	目標値	94.5	94.5	94.5	94.5
			実績値	93.3	91.4	91.1	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	1	1	産前産後サポート事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	04	母子保健事業

整理番号
202010103

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時の助産師等面接: 409人 ・産前産後サポート訪問: 実31人 延48人 ・産後ケア事業: 宿泊型 実5人 延25人、日帰り型 実3人 延4人、訪問型 実28人 延100人 ・ままのわ・ままのわミニセミナー: 延164人 ・助産師相談: 延30人 ・育児相談(計測含む): 延1,133人 ・出産・子育て応援事業: 出産・子育て応援給付金支給者数: 出産応援給付金 21人、出産・子育て応援給付金 67人 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・産後ケア事業宿泊型、日帰り型については、新型コロナウイルス感染症の影響で、委託産科医療機関の受入れに制限があり、希望通りに利用することが出来なかった。 ・訪問型は、自宅に訪問するため、利用制限はないが、休養を希望している場合は対応困難なため、対策が必要になる。 ・ままのわについては、感染症対策の一環として、定員を減らし、交流も最小限に抑えていたため、十分な孤立化予防が出来ていたとはいえない。 ・出産・子育て応援事業については、国から12月に実施要綱が示され、3月に事業開始している。市民の利便性を考慮し、給付金は電子申請できるように検討したものの、実現できなかった。また、対象者に死産された方も含まれることから、改めて産前産後サポート事業の対象者として支援が届くように体制を整えていく。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・産後ケア事業の委託産科医療機関の受入れ制限については、当面の解決は困難であるが、関係機関との綿密な連携を図っていく。 ・訪問型は、産後1年までの利用が可能のため、広報やSNS等により更なる利用促進の周知に努める。 ・ままのわ等の定員を制限している事業について、他自治体での孤立化予防の工夫について実践できる情報収集に努めていく。 ・出産・子育て応援事業については、給付金について電子申請ができるように整備していく。また、死産を体験された方への支援体制について、市民課と連携しながら整えていく。 	
企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 本事業は、切れ目ない相談支援体制により、安心して子育てできる環境整備に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、事業の利用促進の周知を図るとともに、関係機関との連携により利用者の利便性向上に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
乳幼児家庭支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	09	乳幼児家庭支援事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

実施計画整理番号	
202010104	
総合戦略整理番号	22302

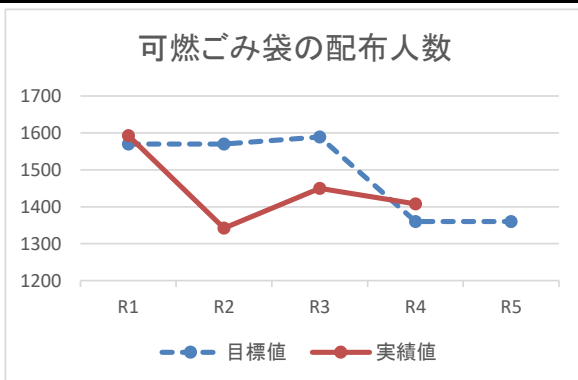
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	子育て支援策として、子育て世代の経済的負担を軽減し、子どもを育てやすい環境を整備する。	市内在住の0～3歳未満の子どもを有する子育て世帯に対し、おむつ廃棄用に可燃用ごみ袋を年間50枚無償で配布する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

おむつ廃棄用の可燃用ごみ袋を配付することで、子育て世代の経済的負担を軽減し、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。

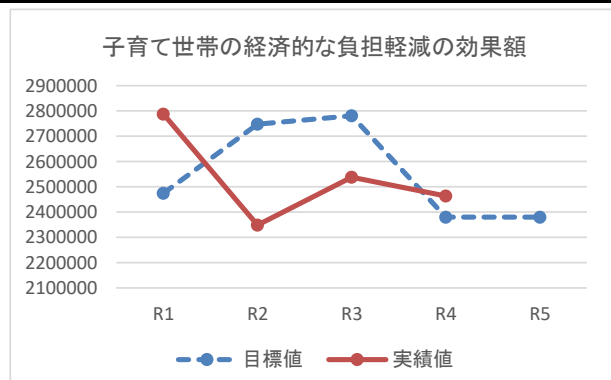
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,438	2,438	2,230	2,438	2,167	2,160			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,438	2,438	2,230	2,438	2,167	2,160			
	人工数	人	0.3			0.3					
	人件費	千円	2,269			2,269					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
出生届時、1歳6か月健診時、2歳児歯科健診時の機会を活用し、可燃ごみ袋を配付する。	可燃ごみ袋の配布人数	人	1,570	1,589	1,360	1,360
		実績値	1,342	1,450	1,408	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
おむつの処理に必要なもえるごみ専用袋を配付することで、子育て世帯の負担を軽減できたものと認識している。	子育て世帯の経済的な負担軽減の効果額	円	2,747,500	2,780,750	2,380,000	2,380,000
		実績値	2,348,500	2,537,500	2,464,000	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	1	1	乳幼児家庭支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	09	乳幼児家庭支援事業

整理番号
202010104

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・出生届時、1歳6か月健診時、2歳児歯科健診時にもえるごみ専用袋(20ℓ)50枚を配付する。 ・各種の届出時等の既存業務に付随し配付することで効率的に事業を実施できた。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・おむつの処理に必要なもえるごみ専用袋を配付することで、子育て世帯の経済的負担を軽減できたものと認識している。 ・袋は20ℓのものを配付しているが、サイズや配付枚数について、検討する必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子育て世代の経済的負担の軽減については効果があるため、事業を進めていく。 ・サイズや配付枚数については、利用者ニーズを的確に把握し検討する必要がある。 	
企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 子育て世代の経済的負担を軽減し子どもを育てやすい環境の整備に資する事業と認められる。引き続き、子育て世代のニーズに沿った事業実施に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
おめでとう赤ちゃんセット配布事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	11	おめでとう赤ちゃんセット配布事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

実施計画整理番号	
202010105	
総合戦略整理番号	22303

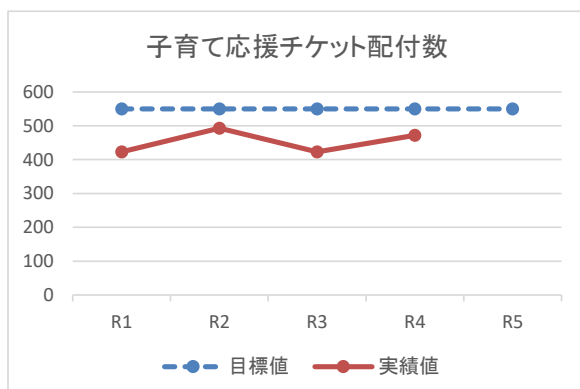
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>出生届を提出した世帯に対し、「おめでとう赤ちゃんセット(①子育て応援チケット②モバリントートバッグ③モバリンタオル④モバリンコップ)」を配付し、出生をお祝いするとともに子育て世帯の経済的負担を軽減する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おめでとう赤ちゃんセットの配付 ・子育て応援チケット協賛店の拡大 ・応援チケットの利用促進
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

「おめでとう赤ちゃんセット」を配付することで子育て世帯の経済的負担を軽減することができ、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。

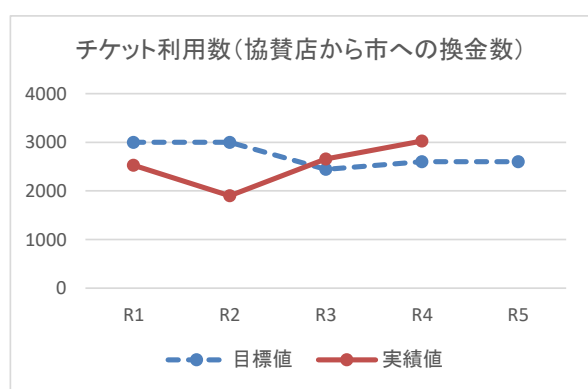
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,020	3,246	3,239	2,543	3,075	3,075			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,020	3,246	3,239	2,543	3,075	3,075			
	人工数	人	0.3			0.4					
	人件費	千円	2,269			3026					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
出生届時等に「おめでとう赤ちゃんセット」を配付する。	子育て応援チケット配付数	部	目標値 550	550	550	550
			実績値 493	423	406	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
配付したチケットを市内の登録店舗で使用することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。	チケット利用数(協賛店から市への換金数)	枚	目標値 3,000	2,443	2,601	2,601
			実績値 1,990	2,669	2,975	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	1	1	おめでとう赤ちゃんセット配布事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	11	おめでとう赤ちゃんセット配布事業

整理番号
202010105

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・出生届の届出時を利用したおめでとう赤ちゃんセットを406部配付した。 ・子育て応援チケット協賛店として、令和4年度は合計117店舗となった。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・出生届の届出時を利用したことで、効率的な配付を行うことができた。 ・物価高騰対策として実施した「子育て応援事業」と並行して実施したことで、登録店舗の増加に繋がった。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・配付については、現在の方法を継続する。 ・市民の利便性向上のため、市公式ウェブサイト等を活用し募集を周知することで、取扱店舗の増加を図る。 ・利用率向上のため、応援チケットの利用期間の延長を検討するとともに、より効果的な周知を実施する。 	
企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当
子育て世帯の経済的負担軽減を図り、総合的な子育て支援に成果を挙げていると認められる。引き続き、より効果的な支援のため子育て世帯のニーズを把握するとともに、SNS等を活用したプッシュ型の情報発信を実施しチケットの利用率向上やより利便性の高い利用方法の検討に努めていただきたい。	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
ファミリーサポートセンター事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	12	ファミリーサポートセンター事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

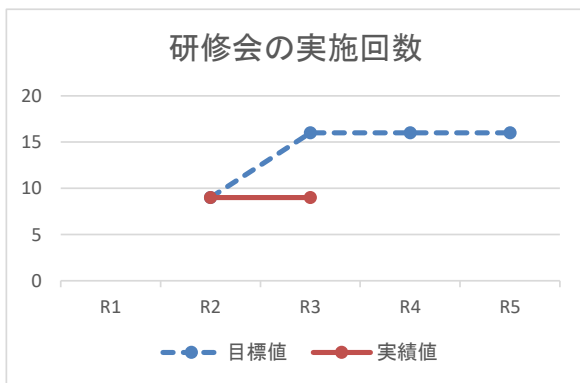
実施計画整理番号	
202010106	
総合戦略整理番号	22304

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	地域社会において、子育てに関し援助を受けたい方(依頼会員)と援助を行いたい方(提供会員)との橋渡しを行い、地域全体で子育てを支え合うようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる周知・広報を行い、会員確保に努める。 ・入会説明会・基礎研修会の実施。 ・利用料の助成。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	ファミリー・サポート・センター事業を行うことで、地域全体で子育てを多面的に見守る体制づくりに努め、ひいては、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。	

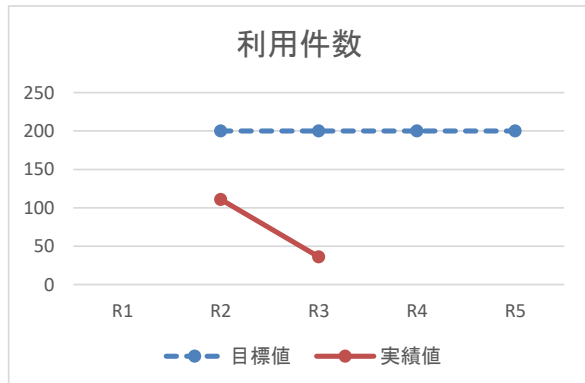
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	4,130	4,130	3,384	4,130	4,203	3,494			
	国補助	千円	1,066	1,000	1,000	1,000	1,000	666			
	県補助	千円	1,066	1,000	1,000	1,000	1,000	666			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,998	2,130	1,384	2,130	2,203	2,162			
	人工数	人	0.5			0.3					
	人件費	千円	3,782			2,269					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
更なる事業の周知、説明会等の実施により会員の増加及び体制を強化する。	入会説明会、基礎研修会の実施	回	9	16	16	16
		実績値	9	9	5	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
		人	200	200	200	200
会員数の増加によるマッチング件数の増加により、地域全体で子育てを支え合うようにする。	利用回数	実績値	111	36	80	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	1	1	ファミリーサポートセンター事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	12	ファミリーサポートセンター事業

整理番号
202010106

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市社会福祉協議会に事業を委託して実施することで、社会福祉協議会の既存のネットワークを活用でき、効率的に事業が実施できた。 ・入会説明会を5回実施した。個別の入会説明についても5名に対応した。 ・令和4年度末で、登録会員は提供会員95名、依頼会員26名、両方会員2名であり、利用件数は80件であった。□ □ □ 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	A: 効率性が高い
	総合評価		
<p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・入会説明会や基礎研修会が新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送ったケースがあった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、対面で行う預かり等が行えないなど、マッチング件数が伸びなかった。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		①業務の整理・統合・集約化	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度から市で直営で実施することとなったことから、今までの周知方法を見直し、効果的な周知に努める。 ・新型コロナウイルス感染症の終息後に備えて会員アンケートを実施し、ニーズを把握するとともに、周知方法の改善し、会員増加とマッチング件数の増加を図る。 			
	企画政策課の評価		評価理由	
B		A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当 総合的な子育て支援の充実に寄与する事業ではあるが、成果を挙げているとは認められない。地域の実情及び子育て世帯のニーズを的確に把握し依頼会員の増加を図るとともに、SNS等のブッシュ型の情報発信を強化していただきたい。		

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
子ども医療費助成事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	12	子ども医療費助成事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

実施計画整理番号	
202010107	
総合戦略整理番号	22305

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>市内在住の中学3年生までの子ども医療費(保険診療分)を助成し、安心して子育てができる環境の形成に資する。</p>	<p>出生や転入時及び例年8月の一斉更新時に正確で迅速な助成を行うとともに、必要に応じて制度について対象となる住民への周知を行う。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

市内在住の中学3年生までの子ども医療費(保険診療分)を助成し、安心して子育てができる環境の形成に資することができ、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	247,013	243,125	229,416	244,544	254,172	223,580			
	国補助	千円									
	県補助	千円	70,858	70,858	69,057	70,479	73,633	66,821			
	市債	千円									
	その他	千円	21,568	21,568	22,408	21,568	21,124	19,759			
	一般財源	千円	154,587	150,699	137,951	152,497	159,415	137,000			
	人工数	人	0.5			0.5					
	人件費	千円	3,782			3,782					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・出生時や転入時等に子ども医療費助成について周知する。		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
医療費の償還払い請求に対する支給事務、審査支払機関への支出を適正に行うことで、市民が安心して子育てができるようにする。		目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	1	1	子ども医療費助成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	12	子ども医療費助成事業

整理番号
202010107

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども医療費助成制度における新規申請等の処理、8月の更新作業等の受給券発行について、適切に処理を行った。 ・国保連及び社会保険診療報酬支払基金等への支払いのほか、過誤分について適切に処理を行った。 ・受給券の発行について、ひとり親家庭等医療費等助成制度との調整を行った。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども医療費助成受給券を交付することで、医療機関等での窓口負担が軽減され、経済的な支援を行うことができた。 ・医療費助成申請時及び8月の一斉更新時に住民税の未申告者がいると発行、更新ができないため、申告を勧奨し未発行者を減らすことが課題となっている。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・未申告により、受給券が発行できていない方については、市民税課と協力し把握に努め、申告勧奨し受給券を発行する。 ・子ども医療費助成とひとり親家庭等医療費等助成の期間が異なることから、受給者が不利にならないように調整を図る。 ・子ども医療費制度の案内に適正受診やジェネリック医薬品の利用等を掲載し、周知を図る。 	
企画政策課の評価		評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	安心して子育てができる環境の形成に資する事業と認められる。引き続き、適正に事務を遂行するとともに、より効果的・効率的な事業実施のため、子育て世帯のニーズを的確に把握できるよう努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
子育て支援事業					

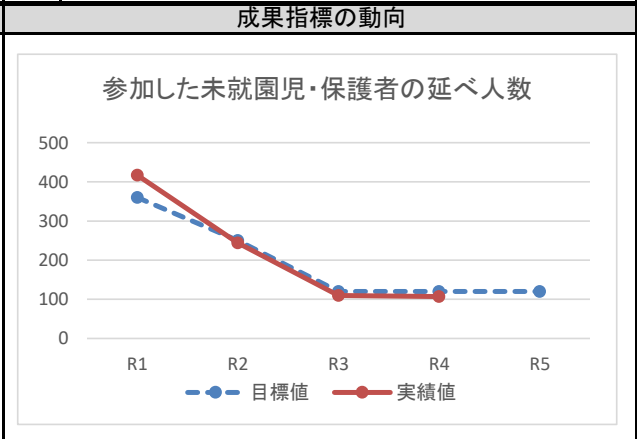
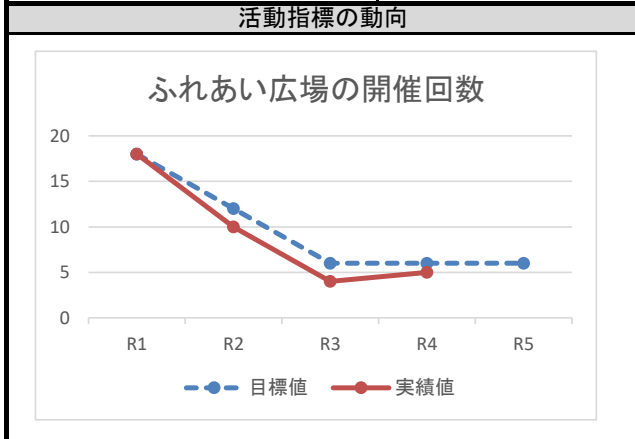
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	04	01	06	子育て支援事業	
担当課・係等					
学校教育課 学務係					

実施計画整理番号	
202010108	
総合戦略 整理番号	22202

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか) 幼児期の子どもを持つ保護者の子育てに関する悩みやストレスを軽減させ、家庭教育を充実させる。	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか) 地域における子育て支援センターとして開かれた幼稚園づくりを推進する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	開かれた幼稚園づくりを推進することで、幼児期の子どもを持つ保護者の子育てに関する悩みやストレスの軽減を図り、ひいては施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	80	80	80	80	80	79			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	80	80	80	80	80	79			
	人工数	人		—			—				
	人件費	千円		—			—				

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
開かれた幼稚園づくりを推進する。	ふれあい広場の開催回数	回	12	6	6	6
		実績値	10	4	5	
	目標値					
	実績値					
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
未就園児及び保護者のための遊び場や保護者同士の交流の場を提供することで子育てに関する悩みやストレスが軽減されることを目指す。	参加した未就園児・保護者の延べ人数	人	250	120	120	120
		実績値	244	110	107	



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	1	1	子育て支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	04	01	06	子育て支援事業

整理番号
202010108

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・公立幼稚園において遊具やおもちゃで遊んだり、人形劇などを実施した。 ・公立幼稚園において、未就園児のための遊び場や保護者同士の交流の場を提供することができた。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
未就園児及び保護者のための交流の場の提供と家庭教育に関する悩みの解消に一定の成果があったと思われる。		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
引き続き、家庭教育の充実に努めるとともに、効果的な周知を図る。	
企画政策課の評価	評価理由
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 0;">A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	保護者の子育てに関する悩みやストレスの軽減につながる事業と認められる。引き続き、効果的に周知することで家庭教育の充実に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
2	2	1	1	子育て支援
				総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名				
オンラインカウンセリング支援事業				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	04	母子保健事業
担当課・係等				
健康管理課保健センター				

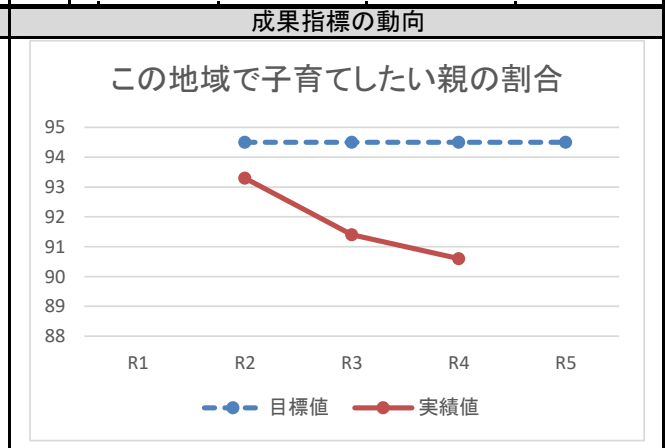
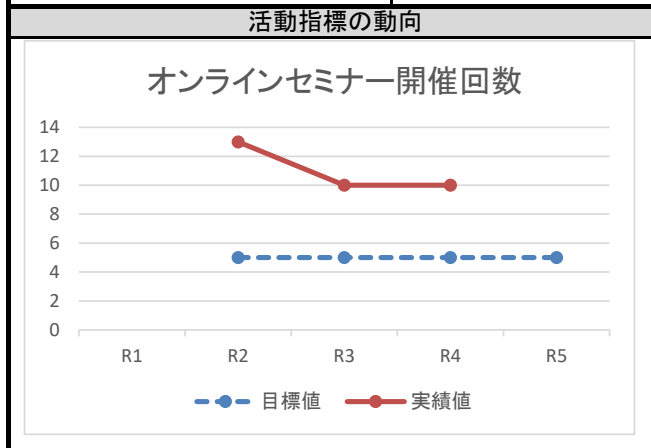
実施計画整理番号	
202010109	
総合戦略整理番号	22203

事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	感染症拡大や大きな災害等により、保健センターで開催する各種教室や相談等が実施困難あるいは来所が困難になったときに、オンライン会議アプリケーション等を利用して、自宅等でインターネットを通して映像、音声により、お互いの顔を見ながら、また資料などについても画面で共有しながら受講及び相談ができるので、妊娠・出産のみならず健康に関する不安を解消することができる。	保健センター内でオンライン会議アプリケーション等を利用して、ママ・パパ教室等の教室を開催したり、助産師等の専門職の相談を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

感染症の蔓延あるいは大きな災害時でも、オンライン会議アプリケーション等を利用して、セミナーの受講や専門職に相談することで、不安を解消し、安心して妊娠期から子育てを過ごすことができることは、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	184	184	170	184	184	170			
	国補助	千円		92	91		92	85			
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	184	92	79	184	92	85			
	人工数	人		0.8			0.65				
	人件費	千円		6,050			2,837				

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
保健センター内でオンライン会議アプリケーション等を利用することで、感染症が蔓延している期間であっても、ママのわ・ママのわミニセミナーの開催や助産師等の専門職の相談を行い、妊娠・出産・子育てができるように支援する。	オンラインセミナー開催回数	回	5	5	5	5
			13	10	8	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
オンラインセミナー等を利用することで、感染症が蔓延している期間であっても、自宅に居ながら妊娠・出産・子育てに関する知識の習得や相談を受けることができ、安心して子育てができる。	すこやか親子21のアンケート調査(6か月乳児相談時)で「この地域で今後も子育てをしていきたい」と回答した親の割合が94.5%以上	%	94.5	94.5	94.5	94.5
			93.3	91.4	91.1	



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	1	1	オンラインカウンセリング支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	04	母子保健事業

整理番号
202010109

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>【オンラインセミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン離乳食セミナー 4回開催、8名参加 ・ままのわミニセミナー小児救急編 1回開催:22名参加 オンデマンド開催:4件案内 ・ままのわミニセミナー災害編 1回開催:17名参加 オンデマンド開催:1件案内 <p>【動画配信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ママ・パパ教室動画配信併用 臨時回2回開催 12件 ・モーパとラッシーのハッピータイム 10本 <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ママ・パパ教室、ままのわ・ままのわミニセミナー、乳児相談については、定員を減らし、時間も短縮するため内容を変更して開催している。そのため、動画の配信やオンライン開催を併用することで、より多くの妊産婦をはじめパートナーに必要な情報を提供し、安心して妊娠期から出産、子育てができるように努めた。参加者からも感染のリスクがなく受講することができたと好評を得ている。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン開催は、感染リスクがないだけでなく、子連れで会場まで出向く必要がないために、気軽に参加することができるメリットがある。 ・新型コロナウイルス感染症について対応方法について周知されてきたため、オンライン相談と対面とを使い分け、利用者が安心して相談できるように体制を整えられた。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度にオンラインセミナーで開催した事業の一部をオンデマンド配信とした。双方向でのやりとりは不可であったものの、アンケートで満足度については確認できた。他市の状況など情報収集し、より良い開催方法を検討していく。 	
企画政策課の評価		評価理由
<p>A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>		<p>本事業の実施により、利用者が安心して相談できる体制整備につながっていると認められる。引き続き、利用者の利便性向上のため、他自治体の状況を調査・研究に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	2	1	子育て支援	質の高い保育・幼児教育の提供
実施計画事業名					
病児・病後児保育事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	05	病児・病後児保育事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

実施計画整理番号	
202020101	
総合戦略整理番号	22306

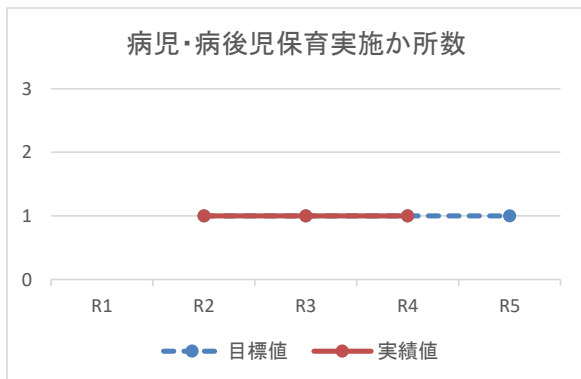
事業概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>病児回復期に至らないが当面の症状の急変が認められない児童及び病児回復期にある児童で、保育所・幼稚園等での集団生活が困難な市内に居住する生後6か月から小学校3年生までの児童を保護者が就労や傷病等で保育することが困難な場合に、医療機関に併設した専用保育施設で一時預かることで、子育てにおける負担を軽減する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の安定的な実施のため、適正に業務委託を実施する。 ・利用促進を図るため、制度の周知に努める。 ・利用者の更なる利便性向上のため、市内での事業実施を検討する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

児童を保護者が就労や傷病等で保育することが困難な場合に、医療機関に併設した専用保育施設で一時預かることで保護者の就労等の支援を図り、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。

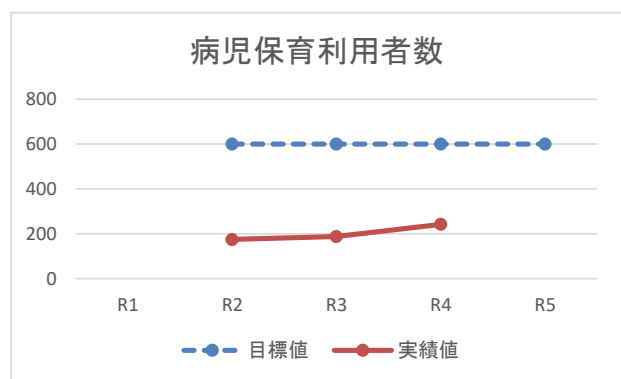
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	3,069	3,069	3,069	3,069	3,710	3,710			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,069	3,069	3,069	3,069	3,710	3,710			
人工数	人		0.3			0.3					
人件費	千円		2,269			2,269					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・事業について近隣町村と協定を締結した。 ・白子町酒井医院での病児保育事業を支援するとともに、制度周知及び利便性向上に努める。	病児・病後児保育施設数	か所	1	1	1	1
		目標値	1	1	1	1
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
事業実施により子育てにおける負担を軽減させる。	利用者数	人	600	600	600	600
		目標値	175	188	242	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	2	1	病児・病後児保育事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	05	病児・病後児保育事業

整理番号
202020101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・白子町の酒井医院にて、茂原市、白子町、一宮町、長生村の4市町村で協定に基づき、委託料を負担し実施した。 ・事業に関する周知については、「もばらで子育てガイドブック」や学童クラブ利用案内等により行った。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・委託料の負担割合について協定を締結したことで、利用料の軽減が図れた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用人数は前年とほぼ変わらなかった。 ・長生郡市内では、酒井医院のみで実施していることから、実施場所を増やす必要がある。そのためには、実施する場所の整備、従事する医師、看護師、保育士の確保が課題となっている。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内での事業実施が求められていることから、茂原市での単独の実施だけでなく長生郡市内市町村で広域的に実施する方向を検討していく。 	
企画政策課の評価	評価理由
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 0;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	保護者の就労等の支援を図ることで、総合的な子育て支援の充実に寄与していると認められる。市民が制度を活用できないことがないよう、SNS等も活用した周知徹底を行うとともに、更なる利便性向上に努めていきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	2	1	子育て支援	質の高い保育・幼児教育の提供
実施計画事業名					
認可外保育所運営支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	04	私立保育園等運営費補助事業	
担当課・係等					
子育て支援課保育係					

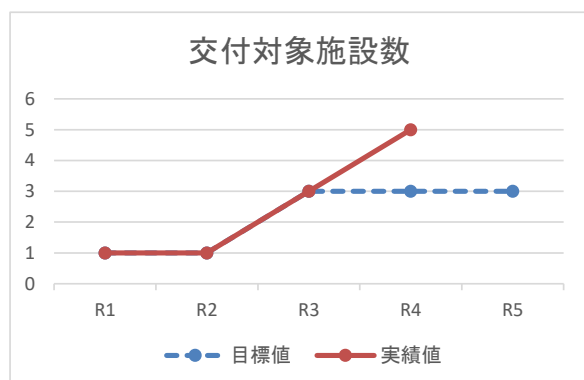
実施計画整理番号	
202020102	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	認可外保育施設の健全な運営を促進し、入所児童の処遇の向上を図る。	認可外保育施設設置者に対し、その入所児童の健康診断に要する経費の一部について補助金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
入所児童の健康診断を支援し、認可外保育施設の健全な運営を促進することで施策「質の高い保育・幼児教育の提供」に寄与する。		

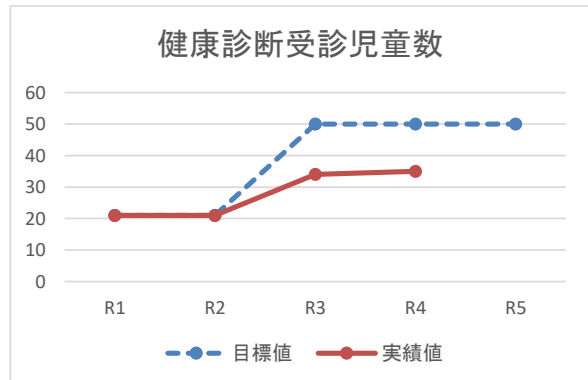
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	96	288	242	288	672	164			
	国補助	千円									
	県補助	千円	32	96	51	96	224	54			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	64	192	191	192	448	110			
	人工数	人		0.1		0.1					
	人件費	千円		756		756					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
認可外保育施設に対し、入所児童の健康診断に要した費用について、96,000円を上限として補助金を交付する。	交付対象施設数	件	1	3	3	3
		目標値	1	3	5	
成果	成果指標	名	21	50	50	50
		目標値	21	34	35	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	2	1	認可外保育所運営支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	04	私立保育園等運営費補助事業

整理番号
202020102

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	認可外保育施設に対して、入所児童の健康診断等に要した費用について、補助金を交付した(認可外保育施設入所児童処遇向上事業補助金)。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・認可外保育施設に通所する児童の処遇の向上が図られたものと考えられる。 ・交付対象となる認可外保育施設を確実に把握する必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	県の施設監査時や予算要求時に、条件となる「認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書」の交付を受けた施設が増えていないか等、対象となる施設の把握に努める。	
	企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	認可外保育施設に通所する児童の処遇の向上に資する事業と認められる。引き続き、すべての子どもの処遇改善を図るため、対象施設の確実な把握に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	2	1	子育て支援	質の高い保育・幼児教育の提供
実施計画事業名					
民間保育士処遇改善事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	04	私立保育園等運営費補助事業	
担当課・係等					
子育て支援課保育係					

実施計画整理番号	
202020104	
総合戦略整理番号	

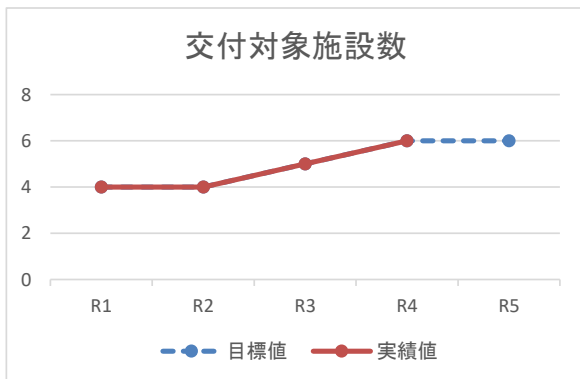
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	民間保育所等の保育士の確保・定着を推進することで、児童の受入枠を確保し、待機児童ゼロの維持及び保育環境の改善を目指す。	千葉県が行う「千葉県保育士処遇改善事業」を活用し、民間保育所等の保育士1名につき月額2万円の処遇(給与)改善を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

保育士の処遇(給与)改善を支援し、民間保育所等の保育士の確保・定着を推進することで施策「質の高い保育・幼児教育の提供」に寄与する。

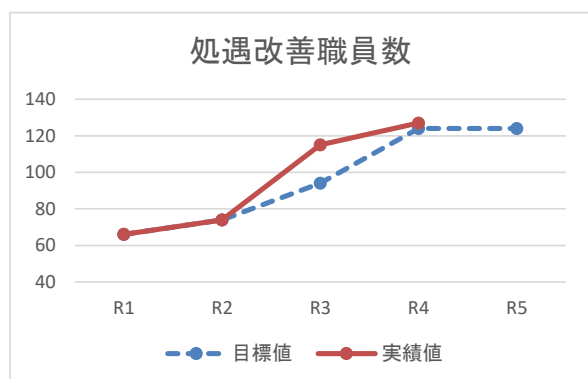
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	22,560	22,560	21,119	27,600	29,760	27,396			
	国補助	千円									
	県補助	千円	11,280	11,280	10,559	13,800	14,880	13,697			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	11,280	11,280	10,560	13,800	14,880	13,699			
	人工数	人	0.15			0.15					
	人件費	千円	1,134			1,134					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
私立保育所、認定こども園、小規模保育事業者等へ補助金を交付する。	交付対象施設数	件	4	5	6	6
		実績値	4	5	6	
成果	成果指標	名	74	94	124	124
		実績値	74	115	127	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	2	1	民間保育士処遇改善事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	04	私立保育園等運営費補助事業

整理番号
202020104

課題抽出
(CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>私立保育園、認定こども園、小規模保育事業施設に対し補助金を交付し、当該施設の保育士の賃金改善を支援した。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
<p>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>概ね順調に業務を遂行できているが、次年度以降も待機児童を発生させないこととともに、更なる保育環境の向上を図る必要がある。</p>		

今後の方向性
(ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>引き続き、保育士の確保・定着の推進のため、処遇改善を実施していく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p>A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>本事業は、質の高い保育・幼児教育の提供に資する事業と認められる。引き続き、民間保育所等の保育士の処遇改善を支援することなどに努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	2	2	子育て支援	質の高い保育・幼児教育の提供
実施計画事業名					
放課後児童健全育成事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	03	放課後児童健全育成事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

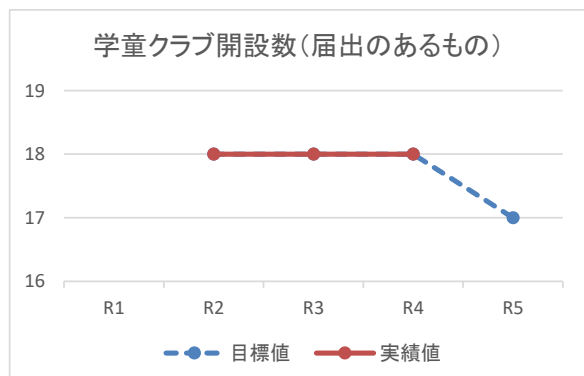
実施計画整理番号	
202020201	
総合戦略整理番号	22307

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し適切な遊びや生活の場を与え健全な育成を図る。	放課後の居場所づくりを行い、遊びや生活の場を与える。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し適切な遊びや生活の場を与え健全な育成を図ることで、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与するものである。	

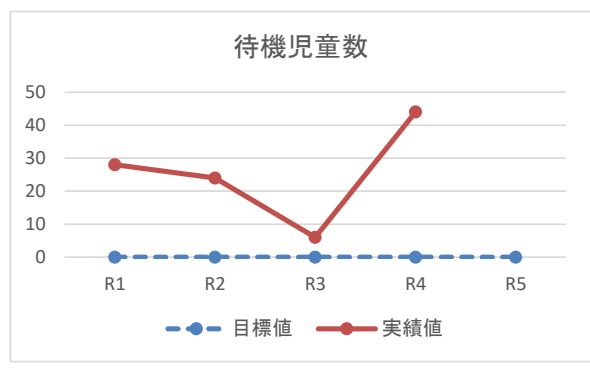
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	70,199	83,642	71,880	74,758	163,290	152,723			
	国補助	千円	15,704	20,185	19,265	17,273	42,941	48,100			
	県補助	千円	15,704	20,185	19,234	17,273	25,961	22,966			
	市債	千円					36,500	29,400			
	その他	千円	21,765	21,765	19,980	21,765	21,753	20,244			
	一般財源	千円	17,026	21,507	13,401	18,447	36,135	32,013			
	人工数	人	1.2			1.3					
	人件費	千円	9,076			9,832					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
学童クラブの開設数を増やし、受入できる児童数を増やす。	学童クラブの開設数(届出のある学童クラブ)	か所	18	18	18	17
			18	18	18	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
受入できる児童数を増加させることで、待機児童の解消につながる。	待機児童数	人	0	0	0	0
			24	6	44	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	2	放課後児童健全育成事業	

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	03	放課後児童健全育成事業

整理番号
202020201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・通年: 公設学童クラブの運営管理及び施設等の修繕、民設学童クラブへの補助 ・通年: 新型コロナウイルス感染症への対応(補助金の交付、施設の修繕) ・物価高騰に対する運営費の補助 ・6~9月 夏期学童クラブの運営管理 ・12月~ 令和4年度の利用調整 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・市全体では定員に収まっているが、児童の多い小学校区で待機児童の発生が見込まれるため、その解消が急務である。 ・公設学童クラブと民設学童クラブでの利用料や運営の格差があることから、是正していくことが課題となっている。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童が見込まれる小学校区については、今後の児童数の推移から、学校施設の利活用や専用保育室の整備などを検討し、待機児童の解消に努めていく。 ・待機児童の発生を抑制するため、放課後の児童の過ごし方について、教育委員会所管事業の「放課後子ども教室」とも連携を図っていく。 ・公設学童クラブと民設学童クラブの格差の是正については、利用料について、公設学童クラブの利用料の値上げや民設学度クラブへの補助金の増額を検討する。 			
企画政策課の評価		評価理由		
B		<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 		児童の放課後の居場所をつくり、健全育成を図ることで総合的な子育て支援の充実に資する事業と認められる。一方で待機児童数が増加していることから、関係機関と連携強化を図り、待機児童の解消に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
2	2	3	1	子育て支援
配慮を必要とする子どもや家庭への支援				
実施計画事業名				
ひとり親家庭福祉事業(高等職業訓練促進給付金)				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	03	01	ひとり親家庭福祉事業
担当課・係等				
子育て支援課 支援係				

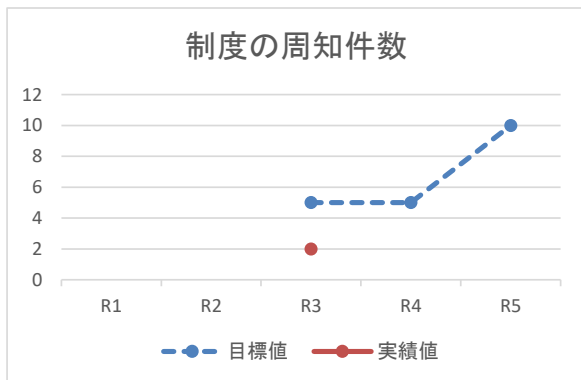
実施計画整理番号	
202030101	
総合戦略	整理番号

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
		ひとり親世帯等に対して、就職の際に有利であり、かつ生活の安定に資する資格の所得を促進するための給付金を支給することで、修業期間中の生活不安を解消し安定した修業環境を提供する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	就職の際に有利であり、かつ生活の安定に資する資格の取得を促進するための給付金の支給により、生活の安定を図ることで、施策「配慮を必要とする子どもや家庭への支援」に寄与する。	

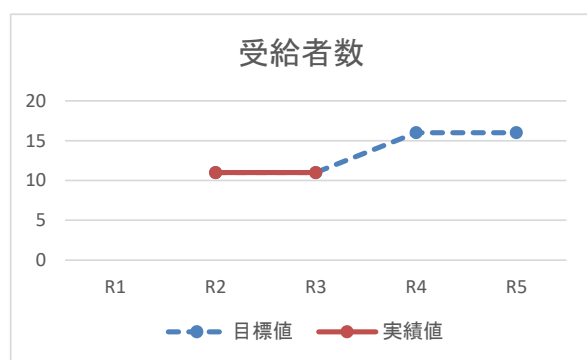
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	10,365	10,375	10,375	11,211	8,021	7,581			
	国補助	千円	7,773	7,773	7,961	8,408	6,015	6,015			
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,592	2,602	2,414	2,803	2,006	1,566			
	人工数	人	0.5			0.5					
	人件費	千円	3,781,500			3,781,500					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
児童扶養手当新規認定及び現況届受付の際の制度の周知を図る。	制度の周知件数	件		5	5	10
				2	2	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
		人	11	11	16	16
			11	11	11	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	3	1	ひとり親家庭福祉事業(高等職業訓練促進給付金)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	03	01	ひとり親家庭福祉事業

整理番号
202030101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当の認定請求時、現況届出時等にこの給付金のほか、ひとり親世帯等への支援の制度について、周知を行った。 ・支給については、毎月の受講状況を確認し支給する。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・受講期間が2年程と比較的長いため、実際に給付金を活用する場合は、仕事を辞めて学校に通うこととなることから、新規の利用者は少ない。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、受講方法がリモートになるなど出席を要しない場合もあるので、適切な支給のため受講状況の把握に努める。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当の手続時等の機会を活用し、制度の周知に努める。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、講座の休止等があり支給期間が延長になっている受講者もいる。(休講期間中は給付金の給付はない。) 			
	企画政策課の評価		評価理由	
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	ひとり親家庭世帯等の生活の安定に一定の成果を挙げていると認められる。一方で、効果的な周知が図られているとは判断できないため、制度についてSNS等も活用した幅広い周知に努めていただきたい。		

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
2	2	3	2	子育て支援
配慮を必要とする子どもや家庭への支援				
実施計画事業名				
軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	02	15	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業
担当課・係等				
障害福祉課支援給付係				

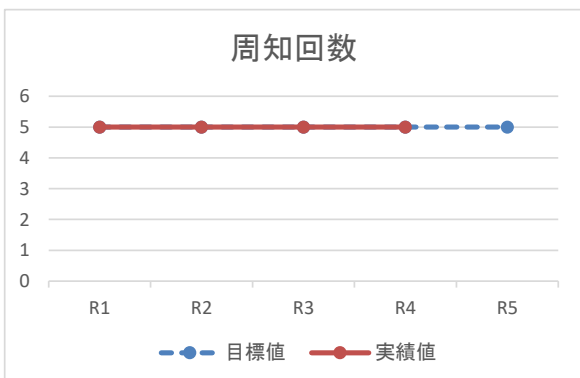
実施計画整理番号	
202030201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	身体障害者手帳の対象とならない軽度・中等度難聴児に対して、補聴器購入に要する費用の2/3(県1/3、市1/3、耐用年数5年)を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、児童における言語能力、学力の向上及び日常生活の快適化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・広報・市公式ウェブサイト等により制度の積極的周知を図る。 ・対象児の保護者に対し、補聴器購入費を助成する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	身体障害者手帳の対象とならない軽度・中等度難聴児に対して補聴器購入費用の一部を助成し、保護者の経済的負担の軽減及び児童の言語能力、学力の向上等を図ることで、施策「配慮を必要とする子どもや家庭への支援」に寄与する。	

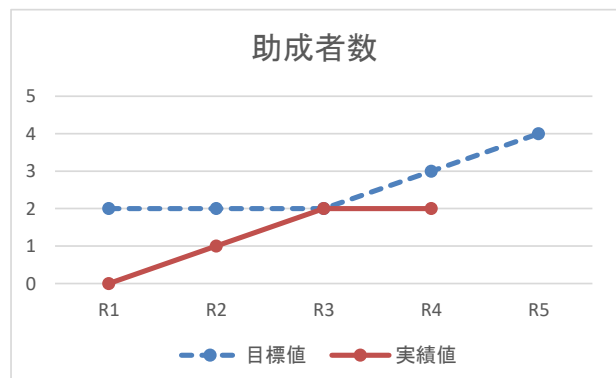
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	288	288	144	288	288	249			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円	144	144	72	144	144	124			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	144	144	72	144	144	125			
人工数	人		0.03		0.03						
人件費	千円		227		227						

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
補聴器購入費助成制度利用促進のため、積極的な周知に努める。	周知回数	回	5	5	5	5
		実績値	5	5	5	5
成果	成果指標	単位	2	2	3	4
		実績値	1	2	2	2

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	3	2	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	02	15	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業

整理番号
202030201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度難聴児に対して補聴器購入に要する費用を助成することで、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、児童における言語能力、学力の向上及び日常生活の快適化を図ることができた。また、下記による周知を図ることで2名から申請があり、助成を行った。 ・市公式ウェブサイトおよび窓口配布している「障害福祉の手引き」に事業内容を掲載。 ・広報もばらへ制度について掲載。 ・大網特別支援学校へ啓発案内文を配布。 ・長生郡市内の耳鼻咽喉科を持つ医療機関に啓発案内文を配置。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>周知の効果により令和2年度、令和3年度と申請件数が1件ずつ伸びてきていたが、令和4年度は2件であり、目標の3件には達しなかった。</p> <p>引き続き、事業内容を広報もばらや市公式ウェブサイト等へ掲載することで周知に努め、更なる利用促進を図る必要がある。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>引き続き、事業内容を広報もばらや市公式ウェブサイト等へ掲載することで周知に努めるとともに、より効果的な事業周知方法を検討し利用促進を図る。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>本事業は、配慮を必要とする子どもや家庭への支援に寄与する事業と認められる。引き続き、SNS等も含めた様々な媒体による情報発信も検討し、利用促進を図っていただきたい。</p>	